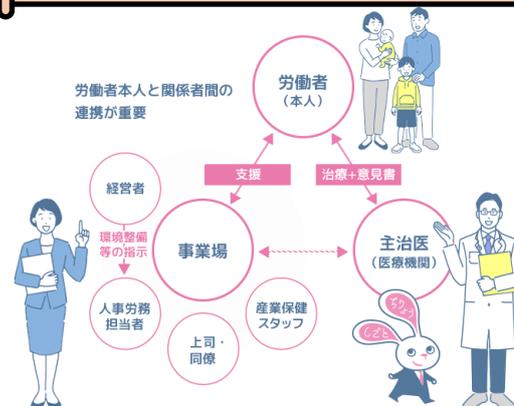




## 治療と仕事の両立を支援します



「治療のために休職して、治療も落ち着いて通院の間隔もあくようになってきた。そろそろ復職を考えようと思っても、今まで通りの仕事内容での復帰は難しかったり、体力が戻るまで時間短縮勤務や週に3日ほどの勤務からスタートしたいなどの希望はあるが、どのような手順で進めればいいのか分からない」という方は多いのではないのでしょうか。

厚生労働省の治療と仕事の両立を支援する仕組みに沿って、医療機関が両立支援を行った場合に「療養・就労両立支援指導料」の算定ができることになっているため、お勤め先の会社の産業医や総括安全衛生管理者等と共同して勤務情報提供書（日本板橋病院のホームページ内の医療福祉相談室のページからダウンロードできます）を作成し、受診時に主治医に渡していただくことで、主治医は勤務の状況を把握することができ、治療と就

労の両立に必要な情報を提供することができます。この仕組みは、平成30年にがん患者さんを対象にスタートし、令和2年には脳血管疾患・肝疾患・指定難病が追加され、令和4年には心疾患・糖尿病・若年性認知症が加わりました。

医療福祉相談室では、このような両立を目指している患者さんに対して、ソーシャルワーカーが問題解決のお手伝いをしていますので、治療と仕事の両立でお困りな事があれば、まずはご相談ください。

## アピランス（外見）ケアへの助成制度が始まりました！

がん治療によって、髪の毛が抜けたり、乳房切除などで外見に変化が起こることがあります。そのことによって、周りの目を気にしたり、外出をしなくなるなど、今まで通りの生活が送れず悩まれている方々がいいます。

アピランス（外見）ケアとは、そのような悩みに寄り添い、変化前の外見に戻すのではなく、自分らしく生きられるよう、外見とともに周りの環境や患者さんの気持ちをケアします。

お住まいの地域によって、抗がん剤治療の副作用で起きる脱毛に悩む患者さん向けに、医療用ウィッグの購入費の助成や胸部補整具の助成をしているところがあります。板橋区でも今年度より開始されました！助成金制度についてお聞きになりたい方は、がん相談支援センターまでご連絡ください。

また、10月のピンクリボン月間には、「板橋区女性健康支援センター」と板橋区乳がん体験者の会「いたばしオアシスの会」の方が、病院に乳がんの患者さんへとメッセージ付の手作りの術後のドレーンバックやティッシュケースを届けてくださいました。先日も患者さんから「手術の時に温かいメッセージとドレーンバックをいただいて元気をもらった」との声をいただいています。これからも連携しながら患者さんを支えていきたいと思えます。



### ☆開催方法変更のお知らせ！☆



がん患者セミナー「心のケアについて」は開催方法が対面開催ではなく病院ホームページでの視聴に変更となりました！

【視聴期間】2023年11月上旬～2024年3月末

【視聴方法】病院ホームページTOPの「お知らせ」又は「公開講座」からご視聴いただけます。



### ☆12月就労支援プログラム「ワーキングサポート」お知らせ☆

■2023年12月1日（金）・8日（金）・15日（金） 17:00～18:00

※全3回（申込〆切は開催予定日の1週間前までです。）

申し込みはこちら⇒

※感染状況によりWEB開催（ZOOM）に変更になる場合があります。



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

東京都板橋区大谷口上町30-1 電話3972-0011（直通）3972-8111（代表）内線3169

相談対応時間 8:30～12:00, 13:00～16:00 予約受付時間 8:30～16:30

掲載記事に関してのご質問等がありましたら、がん相談支援センターまでお問い合わせください。